

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
すきなこと なあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	<p>知： 好きなことの形や色を工夫して描く。</p> <p>思： 描きたい場面を考える。</p> <p>☆ 学： 好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点： 絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。</p> <p>技術の観点： 表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： 経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： 自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>
こんにちは むぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	<p>知： ひねったりつまんだりして形を工夫する。</p> <p>☆ 思： 粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。</p> <p>学： 粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点： 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。</p> <p>技術の観点： 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： 自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>
クレヨン、パスで らんらんランド	絵	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思ついたことを絵に表す。	<p>☆ 知： クレヨンやパスの表し方を工夫する。</p> <p>思： こすってぼかしたりひっかいたりして描きたいものを考える。</p> <p>学： ぼかしたりひっかいたりして描く絵をたのしむ。</p>	<p>知識の観点： ぼかしたりひっかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。</p> <p>技術の観点： いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： クレヨンやパスをぼかしたりひっかいたりした形や色などをもとに表したいを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： クレヨンやパスをぼかしたりひっかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： クレヨンやパスをぼかすことやひっかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
さらさら どろどろ	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知： 砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。	知識の観点： 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。 技術の観点： 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。
				思： 砂や土でどんなことができるか考える。	発想・構想の観点： 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。 鑑賞の観点： 砂や土の造形的な面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 砂や土の触り心地をたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
おはながみ かさねて すかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知： お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知識の観点： 作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。 技術の観点： お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				☆ 思： 並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。	発想・構想の観点： お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点： お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： お花紙の手触りや変化をたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
つんでならべて びっくりしタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知： 粘土の積み方や並べ方を工夫する。	知識の観点： 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通じて、粘土の形などに気づいている。 技術の観点： 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。
				思： 積んだり並べたりした形から、つくりたいものを考える。	発想・構想の観点： 粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。 鑑賞の観点： 互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
ならべて 見つけて いろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知： 色水のつくり方や並べ方を工夫する。	知識の観点： 色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。 技術の観点： いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思： 色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	発想・構想の観点： つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 鑑賞の観点： 自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 色水をつくったり並べたりすることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 色水をつくったり並べたりすることに関心をもち、色水で思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ふたりは なかよし	立	2	紙コップや紙づつを組み合わせて、二人組をつくる。	知： 紙コップや紙づつの形や飾りのつくり方を工夫する。	知識の観点： 紙コップや紙づつの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。 技術の観点： 手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。
				思： どんな二人組にするか考える。	発想・構想の観点： 紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点： 自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 仲良しの二人組をつくってたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
どうぶつさんといっしょに	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	☆ 知： 描きたい場面になるように、形や色を工夫する。	知識の観点： 動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。 技術の観点： 表したいことをもとに描き方を工夫して表している。
				思： 描きたい場面やそのときの気持ちを考える。	発想・構想の観点： 動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点： 自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 動物といっしょにいる場面を描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
ジャンプ！キャッチ！紙けん玉	工	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	☆ 知：紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。	知識の観点：紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。 技術の観点：好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				思：仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。	発想・構想の観点：仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点：友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：紙けん玉をつくり、遊んだりすることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	知：筆使いや色の組み合わせを工夫する。	知識の観点：筆をのびのびと動かして描くを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。 技術の観点：筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。
				思：描きたいえのぐじまを考える。	発想・構想の観点：「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点：絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学：絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
どんどんかわるよ新聞紙	遊	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	知：新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。	知識の観点：新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。 技術の観点：新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思：新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるか考える。	発想・構想の観点：新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 鑑賞の観点：さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。
				学：新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	工	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	☆ 知：袋の形や色、材料の使い方を工夫する。 思：柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。 学：「お友だち」をつくることをたのしむ。	知識の観点：紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。 技術の観点：手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。 発想・構想の観点：柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。 鑑賞の観点：「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体的に学習に取り組む態度の観点：自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐひっぱれインボーネ	絵	4	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。	知：絵の具ののばし方を工夫する。 思：のばした絵の具の形や色から表したいことを考える。 ☆ 学：絵の具をのばして描くことをたのしむ。	知識の観点：自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。 技術の観点：絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。 発想・構想の観点：厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点：自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。 主体的に学習に取り組む態度の観点：つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
コップくるくる チェンジ	工	2	紙コップに透明なコップを重ねて回転させることで絵が変化する仕組みから、表したいものをつくる。	☆ 知：絵の動かし方や、つくり方を工夫する。 思：重ねて回すと絵が変化する仕組みから、表したいことを考える。 学：つくって動かす活動をたのしむ。	知識の観点：紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。 技術の観点：仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。 発想・構想の観点：仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点：自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 主体的に学習に取り組む態度の観点：仕組みに関心をもち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
たからもの ものがたり	鑑	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	知： 宝物の形や色などに気づく。	知識の観点： 身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。 技術の観点： 自分の気持ちをカードに工夫して表している。
				☆ 思： 大切な宝物にしている理由を考える。	発想・構想の観点： 身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。 鑑賞の観点： 身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 宝物を見て、話し合う活動をたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 身近にあるものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
しぜんからの おりもの	遊	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	知： 材料の並べ方や重ね方など、組み合わせを工夫する。	知識の観点： 自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。 技術の観点： 自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。
				思： 材料の形や色から、どんなことができるか考える。	発想・構想の観点： 自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 鑑賞の観点： 活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 自然の材料でたのしく活動する。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 自然の材料の形や色に関心をもち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
わくわく カッターナイフ	工	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。	☆ 知： カッターナイフの使い方に慣れる。	知識の観点： カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってできた形や色に気づいている。 技術の観点： 安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。
				思： 切ってできた形から、つくりたいものを考える。	発想・構想の観点： カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点： 形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 紙を切るたのしさを味わう。	主体的に学習に取り組む態度の観点： カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
まどのある たてもの	工	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくる。	<p>知： 建物の形や、窓の開け方を工夫する。</p> <p>☆ 思： どんな形に切るか考えたり、どんな建物にするか考えたりする。</p> <p>学： カッターナイフで紙を切ってつくることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点： カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通じて、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。</p> <p>技術の観点： カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>
あなでつながる 二つの せかい	絵	4	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	<p>知： 穴を生かした絵の描き方を工夫する。</p> <p>☆ 思： 表と裏の二つの世界を考える。</p> <p>学： 友達と作品を見せ合ってたのしむ。</p>	<p>知識の観点： 穴でつながる二つの世界を描くことを通じて、そこに生まれる形や色に気づいている。</p> <p>技術の観点： 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。</p> <p>発想・構想の観点： 穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： 自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>
たくさん うつそう わたしの 形	絵・版	4	型紙をつくって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表す。	<p>☆ 知： 繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。</p> <p>思： 写し方を試しながら、表したいことを考える。</p> <p>学： 型紙版画で写すことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点： 版を写す活動を通して、写るもののかたちや色に気づいている。</p> <p>技術の観点： 版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： たくさんあつたら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： 型紙版画の表現に関心をもち、版で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
まごころメダルを プレゼント	工	4	紙粘土でメダルをつくって、気持ちを伝える。	<p>知： 気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫する。</p> <p>思： 贈る人のことを思い浮かべてメダルを考える。</p> <p>☆ 学： メダルで気持ちを伝えることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点： 紙粘土の型押しをしたり絵の具で着彩したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。</p> <p>技術の観点： 紙粘土や絵の具の扱い方に慣れ、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： 贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： メダルをつくることを通して、気持ちを伝える学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>
かぶって へんしん	工	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつくって遊ぶ。	<p>知： 形や色、紙の貼り方を工夫する。</p> <p>思： つくりたいお面を考える。</p> <p>☆ 学： お面をつくったりかぶったりしてたのしむ。</p>	<p>知識の観点： お面をつくったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいてる。</p> <p>技術の観点： お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点： お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。	☆ 知： 絵の具に混ぜる水の量を変えて、描き方を工夫する。  思： 描き方を試しながら、表したいことを考える。  学： 描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	知識の観点： 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。  技術の観点： 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。  発想・構想の観点： 自分や友達の作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。  鑑賞の観点： 主体的に学習に取り組む態度の観点： 描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	筆の動かし方や水の量を変えて描くを通して、形や色などの感じがわかっている。
ふわふわ空気 つんでつなげて	遊	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知： 空気を入れたビニル袋の積み方やつなぎ方を工夫する。  思： 空気を入れたビニル袋で、どんなことができるか考える。  ☆ 学： ビニル袋のふわふわした心地よさをたのしむ。	知識の観点： 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。  技術の観点： 膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。  発想・構想の観点： 膨らませたビニル袋を積んだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。  鑑賞の観点： 膨らませたビニル袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。  主体的に学習に取り組む態度の観点： 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。	膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。
生まれかわったなかまたち	立	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	知： 材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。  ☆ 思： いろいろな布の形や色からつくりたい仲間を考える。  学： 集めた材料から仲間をつくることをたのしむ。	知識の観点： 材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっている。  技術の観点： 材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。  発想・構想の観点： 材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。  鑑賞の観点： 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。  主体的に学習に取り組む態度の観点： 材料を変化させて表すことに関心をもち、立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
カラフルねん土でマイグッズ	工	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	知：カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。	知識の観点：カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。	
					技術の観点：これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ったのしいものの表し方を工夫して表している。	
				☆ 思：カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考へる。	発想・構想の観点：カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
かげのへんしん	遊	2	友達と協力して、身のまわりの影を変化させることや影のよさを味わうことを行なうことをたのしむ。	知：材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。	知識の観点：影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっている。	
					技術の観点：見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に動かさせ、活動を工夫してつくっている。	
				思：影の形から、表したいことを考える。	発想・構想の観点：影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
					鑑賞の観点：さまざまな影のよさや面白さを味わい、自分の見方や考え方を広げている。	
光サンドイッチ	工	4	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知：光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	知識の観点：光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。	
					技術の観点：光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして表し方を工夫して表している。	
				思：光を通した材料からつくりたい飾りを考える。	発想・構想の観点：光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学：光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
はこの中の世界	工	4	箱や紙粘土を工夫して使いながら、表したい世界をつくる。	☆ 知：箱の形や色、材料の使い方を工夫する。	知識の観点：箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。	
					技術の観点：箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かしながら表し方を工夫して表している。	
				思：箱の中につくりたい世界を考える。	発想・構想の観点：紙や箱の形から表したい世界を想像して、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：自分や友達の作品を鑑賞することを通して、材料や表し方の工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
けずってつけてわたしたちの形	立	2	粘土を削ったりつけたりしながら、表したいことを思いつき、立体に表す。	知：粘土の削り方やつけ方を工夫する。	知識の観点：粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土でできる形の感じがわかっている。	
					技術の観点：手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	
				☆ 思：粘土を削ったりつけたりして、どんな形ができるか考える。	発想・構想の観点：削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：いっしょにつくっている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
好きな色でできな花を	絵	2	身のまわりにある花に注目し、感じたことをもとに、好きな色の絵の具で描く。	知：色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。	知識の観点：好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通じて、表れる形や色などの感じがわかっている。	
					技術の観点：表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。	
				思：見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。	発想・構想の観点：花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学：好きな色の絵の具をたっぷりつけて描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
にじんで広がるものがたり	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	知：にじみでできる形や色の組み合わせを工夫する。	知識の観点：クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：にじみでできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表し方を工夫して表している。
				☆ 思：にじみでできた形や色からお話を考える。	発想・構想の観点：にじみでできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点：自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：にじみで表すことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
ようこそ！アミアミワールド	遊	2	網を使って場所を生かした活動をする。	知：場所に合った網の使い方を工夫する。	知識の観点：網に触れたり、場所に関わったりしながら、その形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体全体を十分に動かせ、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思：網をいろいろな場所に引っかけることから、たのしい活動を考える。	発想・構想の観点：大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	鑑賞の観点：自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：網を使って、友達と協力して活動する。	主体的に学習に取り組む態度の観点：友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。	
このカタチへんしんすると	絵	2	同じ形の表と裏で絵が変身するクイズをつくって友達とたのしむ。	知：表と裏で絵が変身するように形を工夫する。	知識の観点：表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違つて見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっている。	技術の観点：表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。
				思：見方によって違うものに見えるものを考える。	発想・構想の観点：見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点：クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学：友達の作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：友達のアイデアや作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
みんなでつくろう ねん土ランド	立	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知： 粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。	知識の観点：	粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土ができる形の感じがわかっている。
					技術の観点：	握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。
				思： どんなねん土ランドにしたいのか考える。	発想・構想の観点：	粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。
					鑑賞の観点：	つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。
ためしてあそんでマグネット	工	4	磁石と身近な材料で、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる。	☆ 知： 動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。	知識の観点：	磁石の働きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっている。
					技術の観点：	箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に動かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。
				思： 動きを試しながらつくりたいものを見つける。	発想・構想の観点：	箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。
					鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知： 場面に合った表し方を工夫する。	知識の観点：	夢をかなえた瞬間を思い浮かべ、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。
					技術の観点：	描画材料を使った経験を生かし、夢をかなえた瞬間の場面に合わせて表し方を工夫している。
				☆ 思： 夢をかなえた場面を考える。	発想・構想の観点：	自分が夢をかなえた場面を思いつき、どのように表すか考えている。
					鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 自分の夢を表すことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	つくりだす喜びを味わい、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いか考えて、絵に表す。	知： 乗り物の形や色などの描き方を工夫する。	知識の観点： 不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっている。	
					技術の観点： 不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。	
				☆ 思： 不思議な乗り物やお話を考える。	発想・構想の観点： 身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。	
					鑑賞の観点： 形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
トントンくぎ打ち コンコンビー玉	工	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	知： 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。	知識の観点： 金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。	
					技術の観点： 釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。	
				思： ビー玉が転がるたのしいコースを考える。	発想・構想の観点： ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。	
					鑑賞の観点： 自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。	
えっへん！ わたしが主人公です	鑑	2	絵画に描かれた架空の生き物の中から気に入った生き物を選び、感じしたことや、想像したことなどを描き、考えたことを友達と話し合う。	知： 作品に描かれた生き物を見て、形や線、色の特徴に気づく。	知識の観点： ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっている。	
					技術の観点： 気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。	
				☆ 思： 作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考える。	発想・構想の観点： 気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。	
					鑑賞の観点： 気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。	
				学： 作品に描かれた生き物から想像を広げることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
のこぎりザクザクつないでつけて	工	4	角材をたくさんのこぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものを作る。	☆ 知： のこぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。  思： 木切れを組み合わせながら、つくりたいものを考える。  学： のこぎりで角材を切ったり、木切れを組み合わせたりすることをたのしむ。	知識の観点： のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。  技術の観点： のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができ、木切れの組み合わせ方を工夫して表している。  発想・構想の観点： 切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すか考えている。  鑑賞の観点： 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。  主体的に学習に取り組む態度の観点： 木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
うつしてふえるよ でこぼこさん	絵・版	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知： 版のつくり方や写し方を工夫する。  思： どんな「でこぼこさん」にするか考える。  学： 版をつくったり、写したりすることをたのしむ。	知識の観点： 身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。  技術の観点： 身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。  発想・構想の観点： 「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。  鑑賞の観点： 友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。  主体的に学習に取り組む態度の観点： 身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	
わくわく！スーパーランドセル	工	6	ランドセルの中の世界を想像し、思いついたことを段ボールで表す。	知： つくりたいものに合わせて材料を選び、つくり方を工夫する。  思： ランドセルの中の様子を思い浮かべて、あるとよいものを考える。  ☆ 学： つくることをたのしんだり、友達と見せ合ったりする。	知識の観点： ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、材料の形や色などの感じがわかっている。  技術の観点： ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。  発想・構想の観点： ランドセルの中の様子について想像したことから材料などを生かし、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。  鑑賞の観点： 自分や友達のランドセルの工夫や造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。  主体的に学習に取り組む態度の観点： 自分や友達の作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
みんなでオン・ステージ	工	6	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知： 楽器の形や色、つくり方を工夫する。	知識の観点：	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。
					技術の観点：	箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に動かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。
				思： どんな弦楽器にするか考える。	発想・構想の観点：	輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 友達といっしょにつくったり、演奏したりすることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり友達と演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
いろいろ絵の具研究所	絵	2	身近なものを使って絵の具遊びをして、絵に表す。	知： 絵の具のいろいろな表し方を工夫する。	知識の観点： 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。	
				思： 絵の具の新しい使い方から表したいことを考える。	技術の観点： 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。	
				☆ 学： 思いがけない形や色の美しさをたのしむ。	発想・構想の観点： 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点： 造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主体的に学習に取り組む態度の観点： いろいろな用具を使って絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。	
はるはるはる絵	絵	2	折り紙、包装紙、布などを切って貼りながら、思いついたことを絵に表す。	☆ 知： 材料の特徴を生かして、組み合わせを工夫する。	知識の観点： 紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっている。	
				思： いろいろな材料の形や色、組み合わせから表したいことを考える。	技術の観点： 材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。	
				学： 貼り絵に表すことをたのしむ。	発想・構想の観点： いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点： 材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主体的に学習に取り組む態度の観点： 材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
紙パックでパックパク	工	4	四角い筒に棒材をつけた動く仕組みの動きを生かし、動くおもちゃをつくる。	☆ 知： 仕組みを生かして、飾りや動かし方を工夫する。	知識の観点： 四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっている。	
				思： 仕組みから表したいものを考える。	技術の観点： テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。	
				学： 動かすと面白いおもちゃをつくることをたのしむ。	発想・構想の観点： 仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点： 互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主体的に学習に取り組む態度の観点： 動く仕組みを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
むすんでつなないで	遊	2	身近な場所に枝を結び付けたりひっかけたりして、思いついた活動をする。	知： 枝の結び方やつなぎ方を工夫する。	知識の観点： 身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点： 身近な場所を使って枝を結んだりひっかけたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思： 枝をつけた場所が変化する様子から、表したいことを考える。	発想・構想の観点： 枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	鑑賞の観点： 造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。
				学： 枝を結んだりつなげたりして、場所が変化することをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 友達と協力して、枝を結んで場所を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知： 木の描き方や色づくりを工夫する。	知識の観点： 身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。	技術の観点： 色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。
				☆ 思： 木から感じたことをもとに表したいことを考える。	発想・構想の観点： 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： お気に入りの木を描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 身近にある木々に関心をもち、自分なりの木を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。	
自然の色 どんな色	鑑	2	自然が描かれた作家の絵を見て、形や色から感じ取ったことについて対話する。	知： 作品のよさ、形や色の工夫に気づく。	知識の観点： 身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：
				☆ 思： 作品の形や色から感じ取ったことについて考える。	発想・構想の観点：	
					鑑賞の観点：	身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 互いの見方や感じ方のよさや違いを味わう。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動に進んで取り組もうとしている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
つないで組んで すてきな形	工	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	☆ 知： 紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫する。	知識の観点： 紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかっている。	技術の観点： ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。
				思： 飾ったり使ったりするものを考える。	発想・構想の観点： 形や色などの感じから飾ったり使ったりするものを思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 飾ることや使うことを思い浮かべてたのしくつくる。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 紙バンドの特徴を生かして使ったり飾ったりするものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
お気に入りの形	立	2	粘土の形を変えながら、気に入った形を見つけて写真を撮ったり、つくり変えたりすることを繰り返し、立体に表す。	知： 粘土を触ってできる形を工夫する。	知識の観点： 粘土をさまざまな触り方をすることで粘土でできる形の感じが変わる特徴について、自分の感覚や行為を通してわかっている。	技術の観点： 表したいことに合わせて手や指、手のひらなどの使い方を工夫して表している。
				思： 気に入った形をたくさん見つける。	発想・構想の観点： 自分がお気に入りだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 友達の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 粘土の感触を味わいながら、つくり変えることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
ちかごろむちゅうです	絵	4	身近にあるたのしみを絵に表し、伝え合う。	☆ 知： 夢中になっている様子が伝わるように表し方を工夫する。	知識の観点： 身近な出来事を描くを通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点： これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。
				思： 生活の中から表したい場面を考える。	発想・構想の観点： 生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の表したいことやいろいろな表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 自分が夢中になっていることを絵に表すことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 身近にあるたのしみを絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
小さくなつて遊びにいこう	絵	4	小さくなつて身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す。	☆ 知：身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫する。	知識の観点： 技術の観点：	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかっている。 表したい様子が伝わるように、表し方を工夫している。
				思：身のまわりのものの形や色などから遊びを考える。	発想・構想の観点： 鑑賞の観点：	小さくなつた自分が身のまわりのもので遊ぶ様子を想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。 友達のアイデアや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：身のまわりのもので遊ぶ様子を絵に表すことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
どろどろカッチン	立	4	布を液体粘土で固めた形を生かして、立体に表す。	知：固めた布の形から思いついたものの表し方を工夫する。	知識の観点： 技術の観点：	材料で型を組んだり布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかる。
				☆ 思：固めた布の形から表したいことを考える。	発想・構想の観点： 鑑賞の観点：	固まった布の形から自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。 いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：固めた布の形から思いつくことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	液体粘土の感触を味わい、固めた布から思いついたものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
直線と曲線から生まれる形	立	4	割り箸と竹ひごを組み合わせて、紙を貼って、思いついたものを立体に表す。	知：割り箸と竹ひごの組み合わせを工夫する。	知識の観点： 技術の観点：	割り箸と竹ひごを組み合わせることを通して、線と面の形などの感じがわかる。
				☆ 思：線と面を生かした形を考える。	発想・構想の観点： 鑑賞の観点：	思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。
				学：線と面を組み合わせて表すことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	線と面をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。
						線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
わくわくランドで遊ぼう	遊	2	身近な場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。	知： 身近な場所を生かした活動を工夫する。	知識の観点： 活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっている。	
				☆ 思： 学校にある場所や自然の材料を生かして、たのしく遊べるしきけを考える。	技術の観点： 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身辺材料と組み合わせた感じを生かして活動を工夫してつくっている。	
				☆ 学： 友達と協力してたのしく活動する。	発想・構想の観点： 場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				☆ 学： 友達と協力してたのしく活動する。	鑑賞の観点： アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
学校もりあげますコット	工	4	学校生活を応援してくれたり手伝ってくれたりするマスコットをカラフル紙粘土で立体的につくる。	知： 紙粘土に絵の具を混ぜてつくるカラフル粘土で、形や色を工夫する。	知識の観点： 紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっている。	
				思： その場所にふさわしい形や色のマスコットを考える。	技術の観点： 表したいマスコットに合わせて、紙粘土の形や色を工夫して表している。	
				☆ 学： マスコットをつくったり見せ合ったりして、伝え合うことをたのしむ。	発想・構想の観点： 学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				☆ 学： マスコットをつくったり見せ合ったりして、伝え合うことをたのしむ。	鑑賞の観点： 自分や友達の発想、表し方の工夫や違いに気づき、見方や感じ方を広げている。	
本を開くとお気に入りの場面	工	4	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知： 伝えたい場面に合わせて、つくり方を工夫する。	知識の観点： お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。	
				思： お気に入りの場面をどのように表すか考える。	技術の観点： 表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方やつくり方などを工夫して表している。	
				☆ 学： お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	発想・構想の観点： 物語を読んで、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や登場人物の気持ちなどから、表したいことを思いつき、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいか考えている。	
				☆ 学： お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	鑑賞の観点： 友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学： お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	主体的学習に取り組む態度の観点： お気に入りの場面を表し、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
飛び出すハッピーカード	工	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくり、気持ちを伝える。	知：飛び出す仕組みを生かして、表し方を工夫する。	知識の観点：飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。
				思：贈る相手を思い浮かべて、伝えたいことを考える。	発想・構想の観点：贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。	鑑賞の観点：互いのカードの工夫やよさに気づき、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学：カードをつくったり渡したりすることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：つくったカードで気持ちを伝える学習活動に進んで取り組もうとしている。	
ほった線からはじまるお話	絵・版	4	はじめに版木に彫刻刀で彫った線から広げたイメージを木版画に表す。	☆ 知：彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫する。	知識の観点：彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。
				思：彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。	発想・構想の観点：彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点：材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：彫刻刀で彫って、紙に刷ることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	
紙の箱だいへんしん	工	2	切ったり、組み合わせたりして紙の箱を変身させ、表したいもの考えて飾りをつくる。	知：箱の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知識の観点：紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点：紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。
				☆ 思：切った箱の形や組み合わせた形から、つくりたい飾りを考える。	発想・構想の観点：紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。	鑑賞の観点：自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学：箱を切って組み合わせることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：紙の箱を切って組み合わせて表現したり、作品を鑑賞したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
へんてこ山の物語	絵	4	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知： 表したいことに合わせて、描く材料を選び、形や色を工夫する。	知識の観点： 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	技術の観点： 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。
				☆ 思： 思いついたへんてこな形からお話を考える。	発想・構想の観点： へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： へんてこ山を描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
				☆ 知： 板の組み合わせを工夫する。	知識の観点： のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色、組み合わせの感じがわかっている。	技術の観点： 板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。
				思： 組み合わせた形からつくりたいものを考える。	発想・構想の観点： 切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学： 板の組み合わせから、新しい形が生まれることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
みんなでたのしいだんボールランド	遊	2	段ボールと場所をもとに、友達と協力して活動をする。	知： 段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫する。	知識の観点： 段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。	技術の観点： 段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に動かせ、活動を工夫してつくっている。
				思： どんなだんボールランドをつくるかを考える。	発想・構想の観点： 段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学： 友達と力を合わせて段ボールで活動することをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
ゆめいろランプ	工	4	透明容器と光を通す材料を組み合わせて、ランプをつくってみんなで飾る。	知： ランプの材料や色の組み合わせを工夫する。	知識の観点： 光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっている。	
				思： 光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	技術の観点： 用具を適切に使い、光を通す材料の形や色、その組み合わせ方などを表したいことに合わせて工夫して表している。	
				☆ 学： ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしむ。	発想・構想の観点： 映る光の影の形や色、材料を切ったり重ねたりして想像したことなどから表したいことを見つけ、形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。 鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主体的に学習に取り組む態度の観点： 材料を透過する光のよさや面白さなどを味わい、ランプをつくって、みんなで飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
季節を感じて 絵	4	季節から感じたことを絵に表す。	<p>知： 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。</p> <p>☆ 思： 季節を感じて、表したいことや表し方を考える。</p> <p>学： 季節を味わい、描くことをたのしむ。</p>	知識の観点： 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	自分がもった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。	
				技術の観点： 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				発想・構想の観点： 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		
				鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
のぞくと広がる ひみつの景色 工	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	<p>知： 表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。</p> <p>☆ 思： どんな秘密の景色にするか考える。</p> <p>学： 自分や友達の作品のよさを味わう。</p>	知識の観点： 表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。	「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通じて、形や色、奥行きなどを理解している。	
				技術の観点： さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				発想・構想の観点： 表したいを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		
				鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
ビー玉大ぼうけん 工	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	<p>知： ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。</p> <p>思： 転がると面白いコースやしあげを考える。</p> <p>☆ 学： 友達と協力してつくることをたのしむ。</p>	知識の観点： ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	コースのしあげによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。	
				技術の観点： 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしあげのつくり方を工夫して表している。		
				発想・構想の観点： 玉の転がり方をもとにしあげを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。		
				鑑賞の観点： 作品で遊び、友達のコースの面白さやしあげの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				主体的に学習に取り組む態度の観点：	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
線から生まれたわたしの世界	絵	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>線の描き方や組み合わせ方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>線を描きながら表したいことを考える。</p> <p>学：</p> <p>いろいろな線を描くことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。</p> <p>技術の観点：表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	
動きの形をつかまえよう	絵	2	人の動きや形をとらえて絵に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>人の動きや形をとらえて、表し方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>動きや形をどのように表すか考える。</p> <p>学：</p> <p>いろいろな表し方で動きや形を描くことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。</p> <p>技術の観点：表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：動きや形から表したいを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：人の動きをとらえることをたのしみ、いろいろな表し方をして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	
ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。</p> <p>学：</p> <p>粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。</p>	<p>知識の観点：粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。</p> <p>技術の観点：粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
ぺたんこねん土でつくってみると	立	2	板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>べたんこ粘土でできる形のつくり方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>不思議な形から、つくりたいものを考える。</p> <p>学：</p> <p>べたんこ粘土からできる形の面白さをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：</p> <p>板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。</p> <p>技術の観点：</p> <p>切ったりひねったりつけたりして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：</p> <p>板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：</p> <p>自分や友達の表し方のよさや面白さを味わいながら表現の特徴を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：</p> <p>板粘土でできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	
だんボールでためしてつくって	立	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	<p>知：</p> <p>段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。</p> <p>☆ 思：</p> <p>段ボールの特徴から表したいものを考える。</p> <p>学：</p> <p>段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：</p> <p>段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。</p> <p>技術の観点：</p> <p>段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：</p> <p>段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：</p> <p>段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：</p> <p>段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	
見つけてワイヤーワールド	工	6	針金の特徴を生かして、立体的に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>針金でできる形から、表したいことを考える。</p> <p>学：</p> <p>針金でできる形を見つけたりつくったりすることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：</p> <p>針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。</p> <p>技術の観点：</p> <p>針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：</p> <p>針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。</p> <p>鑑賞の観点：</p> <p>作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：</p> <p>針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
くるくる回して	工	6	クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。	<p>☆ 知：</p> <p>形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する。</p> <p>思：</p> <p>揺れ棒の動きからおもちゃを考える。</p> <p>学：</p> <p>繰り返しの動きの面白さをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。</p> <p>技術の観点：身辺材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：動さやバランスをもとに、自分のイメージをもろなかり、仕組みで動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
コロコロ ローラーダンス	絵	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	<p>知：</p> <p>ローラーを使った表し方を工夫する。</p> <p>☆ 思：</p> <p>ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。</p> <p>学：</p> <p>ローラーを使ってたのしく活動する。</p>	<p>知識の観点：ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技術の観点：ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
重ねて広がる形と色	絵・版	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り込み版画の技法で木版画に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。</p> <p>思：</p> <p>彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。</p> <p>学：</p> <p>彫りと刷りを繰り返して表すことを行なう。</p>	<p>知識の観点：版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。</p> <p>技術の観点：彫り込み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：彫り込み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
進め！糸のこたん検隊	工	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。	<p>☆ 知：</p> <p>電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。</p> <p>学：</p> <p>電動糸のこぎりで板を切ることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。</p> <p>技術の観点：電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこで切り、板材を組み合わせてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
地球まるごとたからばこ	遊	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	<p>知：</p> <p>自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>材料や場所の特徴を生かして何ができるか考える。</p> <p>☆ 学：</p> <p>自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。</p>	<p>知識の観点：自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。</p> <p>技術の観点：これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。</p> <p>発想・構想の観点：材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。</p> <p>鑑賞の観点：身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
この空間がいい感じ	遊	2	学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	<p>知：</p> <p>場所に合わせてビニルひもの使い方を工夫する。</p> <p>思：</p> <p>ビニルひもや場所の特徴からできることを考える。</p> <p>☆ 学：</p> <p>ビニルひもを使って空間を変えることをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変えることを通して、形や色、場所や空間を理解している。</p> <p>技術の観点：表したい空間になるようにビニルひもの使い方など活動を工夫してつくっている。</p> <p>発想・構想の観点：ビニルひもで場所と場所とをつなぐことでできる空間の変化をもとに自分のイメージをもち、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：造形的なよさやいろいろな表し方の特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：友達と協力して、ビニルひもで空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
学校おすすめガイド	絵	4	学校の中で見つけたすてきなものやことを絵に描いて伝える。	<p>☆ 知：</p> <p>学校のおすすめしたいものやおすすめしたいことを考える。</p> <p>思：</p> <p>学校の中でいろいろなよさを見つけて、伝え合うことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：おすすめしたいことが伝わるように表し方を工夫する。</p> <p>技術の観点：これまでの経験や技能を総合的に生かし、表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：学校の中からおすすめしたいものやことを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：友達の表現の意図や表し方の工夫などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：学校の中でおすすめしたいものやことを見つけて、絵に表して伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
あつたらいい町 どんな町	絵	4	あつたらいいな、行ってみたいなと思う町を想像して絵に表す。	<p>知：</p> <p>思いついた形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>☆ 思：</p> <p>想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。</p> <p>学：</p> <p>あつたらいいなと思う町を描くことをたのしむ。</p>	<p>知識の観点：絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>技術の観点：想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点：あつたらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑賞の観点：自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	<p>知：</p> <p>作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気づく。</p> <p>☆ 思：</p> <p>町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。</p> <p>学：</p> <p>互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。</p>	<p>知識の観点：作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。</p> <p>技術の観点：</p> <p>発想・構想の観点：</p> <p>鑑賞の観点：町の作品から、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度の観点：互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	
動いてクレイアニメーション	工	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくってたのしむ。	知：キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	知識の観点：キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。
					技術の観点：お話をもとに、キャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫して表している。	
				思：キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発想・構想の観点：キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：友達の作品の表現の意図や特徴、動かし方による違いなどについて、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学：友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：友達とアイデアを出し合い、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
おもしろかんばん屋さん	工	6	学校のことをたのしくわかりやすく伝える看板をつくる。	知：学校のことを伝える看板の形や色を工夫する。	知識の観点：身のまわりの看板や展示する看板の形や色などを理解している。	
					技術の観点：段ボールを活用し、これまでの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	
				思：学校の生活をたのしくする看板を考える。	発想・構想の観点：看板にして伝えたいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学：看板をつくって伝え合うことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：つくりだす喜びを味わい、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
紙が奏でる形と色のハーモニー	絵	2	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	<p>☆ 知：</p> <p>思：</p> <p>学：</p>	<p>知識の観点： 色画用紙の切り方や組み合わせ方を工夫する。</p> <p>技術の観点： 色画用紙やカッターナイフを適切に活用するとともに、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して形や色、奥行き、色の鮮やかさなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。</p> <p>発想・構想の観点： 色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色から、表したいことを考える。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的学習に取り組む態度の観点： 色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色のよさを味わう。</p>
絵のお話で プレゼント	工	4	友達と協力してお話と絵を考えて紙芝居をつくり、伝えることをたのしむ。	<p>知：</p> <p>思：</p> <p>☆ 学：</p>	<p>知識の観点： 絵でお話が伝わるように形や色を工夫する。</p> <p>技術の観点： 描画材料を活用し、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p> <p>発想・構想の観点： 形と色でどのように表すか考える。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主体的学習に取り組む態度の観点： 表し方について話し合い、友達と協力して絵に表すことをたのしむ。</p>
いつもの学校が変身	遊	2	学校内の環境や場所の形を生かして、来校者がたのしくなるものやことを考えてつくる活動をする。	<p>知：</p> <p>☆ 思：</p>	<p>知識の観点： これまでに使った材料を使って、つくり方を工夫する。</p> <p>技術の観点： 材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方など活動を工夫してつくっている。</p> <p>発想・構想の観点： 場所の特徴を生かして、アイデアを考える。</p> <p>鑑賞の観点： 異なる材料や場所との組み合わせから表したいものを見つけ、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑賞の観点： 自分や友達の活動の造形的なよさや表現の意図を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p>

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
				学：	友達と力を合わせて活動をたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	友達と力を合わせて活動する喜びを味わい、場所を変身させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
ゆらめきファンタジーワールド	遊	2	普段使っている教室や廊下を光と水を組み合わせることで、友達と協力して場所を変化させる活動をする。	知：	場所の特徴を生かして、光と水の組み合わせを工夫する。	知識の観点：	天井や壁などに光と水のゆらめきを反映させる組み合わせ方や机や椅子の配置を考え、光の色の鮮やかさや奥行きを理解している。
						技術の観点：	光と水のゆらめきがよりよく見える組み合わせや環境づくりなど、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思：	光と水のよさを生かして表したいことを考える。	発想・構想の観点：	水にあてる光の角度を考えたり、場所に合わせて光と水の置き方を変えることから表したいことを思いつき、どのように活動するか考えている。
						鑑賞の観点：	光と水のゆらめきの美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				学：	友達と協力してたのしく活動する。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	友だちと協力して、光と水を組み合わせて表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				☆ 知：	紙の切り方や組み合わせ方などを工夫する。	知識の観点：	LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解している。
すかして重ねてわたしの光	工	4	紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。			技術の観点：	LEDライトや紙の特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫して表している。
			思：	光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	発想・構想の観点：	紙の透かし方や重ね方を試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑賞の観点：	自分や友達の作品から、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
			学：	ランプをつくり、みんなで飾ってたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	光と影の美しさを味わいながら、ランプをつくったり友達と飾ったりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
			知：	動く仕組みを理解して、つくり方を工夫する。	知識の観点：	リンク機構を生かした動く仕組みを使って表すことを通じて、動きやバランスについて理解している。	
					技術の観点：	はとめや割りピン、画用紙や工作用紙を活用して、形や色などの表し方を工夫して表している。	
心も動き出すからリンク	工	4	リンク機構を生かした動く仕組みから、表したいものをつくる。	☆ 思：	動く仕組みから表したいことを考える。	発想・構想の観点：	リンク機構を生かした動く仕組みをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
						鑑賞の観点：	友達の作品からよさや美しさ、つくった人の思いを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
				学：	面白い動きをつくることをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	動く仕組みの作品をつくりだす喜びを味わい、仕組みを生かして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
不思議などびらのむこうには	絵	4	身近なものが不思議な扉になることを想像して不思議な扉の向こうに広がる世界を表す。	知：	表したいことが伝わるように、表し方を工夫する。	知識の観点：	身近なものを不思議な扉として表すことを通して、二つの世界の形や色の造形的な特徴を理解している。
						技術の観点：	表したい二つの世界を表す描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				☆ 思：	身のまわりのものの向こうに、あたらしいな、面白いなと思う世界を考える。	発想・構想の観点：	不思議な扉からイメージを広げて表したいことを見つけ、その世界の形や色、構成など、どのように表すか考えている。
わたしのお気に入りの場所	絵	4	学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	知：	気持ちが表れるように、描き方を工夫する。	知識の観点：	お気に入りの場所を描くを通して、身のまわりの風景の奥行きや色の鮮やかさを理解している。
						技術の観点：	気持ちや思いが伝わるように、描画材料を選び、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表し方を工夫して表している。
				☆ 思：	お気に入りの場所から表したいことを考える。	発想・構想の観点：	お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを深め、どのように主題を表すか考えている。
わたしの二つの気持ち	絵	4	表したい気持ちを組み合わせて絵に表す。	知：	気持ちが表れるように、形や色、筆使いを工夫する。	知識の観点：	気持ちを表現する活動を通して、形や色の組み合わせやバランスを理解している。
						技術の観点：	表したい感じに合わせて材料や用具を活用し、表し方などを工夫して表している。
				思：	表したい二つの気持ちを考える。	発想・構想の観点：	気持ちに自分なりのイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑賞の観点：	友達の作品を鑑賞することを通して、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準			
				☆ 学：	心を開いて、自分の気持ちを描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	心を開いて自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
見て感じてわたしの表現に 絵	4	芸術家の作品を鑑賞し、気に入った表現方法を自分の絵にも取り入れて表したいことを絵に表す。	知：芸術家の表現を取り入れて表し方を工夫する。	思：芸術家の表現のよさから、表したいことを考える。	知識の観点：	芸術家の表現を取り入れて絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。	技術の観点：	水彩絵の具やクレヨン、パス、カラーペンなどを活用するとともに、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫し	
					発想・構想の観点：	自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学：	芸術家の表現を取り入れて描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。		
				知：空間を考えて、粘土の形のつくり方を工夫する。		知識の観点：	形の中に入り込むという感覚を通して、形がつくる空間を理解している。	技術の観点：	粘土の特徴を生かし、表し方を工夫して表している。
形の中に入ってみると 立	2	自分自身が作品の中に入り込んだつもりになることを手がかりに想像を広げ、粘土で立体に表す。	☆ 思：作品の世界に入り込んだつもりになつて、表したい形を考える。	学：作品の中に入り込むことをたのしむ。	発想・構想の観点：	形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点：	友達の作品や街にあるモニュメントやオブジェなどからよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化など感じ取ったり、考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
					主体的に学習に取り組む態度の観点：	作品の世界に入り込む喜びを味わい、粘土で形を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。			
				知：粘土の板の切り方や組み合わせ方を工夫する。		知識の観点：	粘土の板を切ったり組み合わせたりすることから、立体の美しさやバランスを理解している。	技術の観点：	粘土を切ったり曲げたりねじったりしたものを、表したいものに合わせて、組み合わせ方を工夫して表している。
ねん土の板から生み出す形	立	2	粘土の板を切ったり組み合わせたりして、表したいことを立体に表す。	☆ 申・りかがらま！たいせのを考う	粘土の板を切ったり形づくりしながら自分なりのイメージをもち、表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。	発想・構想の観点：			

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
				△ 知・学：△ 絵：△ 鑑賞：△ 工：	△ 学：△ 思：△ 学：	鑑賞の観点： 自分や友達の作品の造形的な美しさやバランスなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 粘土の板を組み合わせながら表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
墨の達人	絵	2	筆やさまざまな用具を使って、墨のよさを生かして、表したいことを絵に表す。	知：	墨のよさや特徴を生かして表し方を工夫する。	知識の観点： 墨で描くことを通して、にじみやかすれ、動きやバランス、色の感じなどを理解している。	技術の観点： 表したいことに合わせて墨の技法や用具による効果を選んだり、組み合わせたりして表し方を工夫して表している。
						発想・構想の観点： 墨の濃さや用具でできる形などから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。	鑑賞の観点： 自分や友達の作品の工夫したところ、表し方の違いやよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				☆ 学：	墨で描くことをたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 墨のよさを味わい、墨で描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
墨や筆の技 水墨画の世界へ	鑑	2	墨や筆のいろいろな技に注目して水墨画を鑑賞して、感じたことを話し合う。	知：	墨や筆の技や水墨画の特徴に気づく。	知識の観点： 雪舟の『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞する活動を通して、墨の濃さの違いによる形や色など、水墨画の造形的な特徴を理解している。	技術の観点：
				☆ 思：	墨や筆のいろいろな技から、作品のよいところを考える。	発想・構想の観点： 『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑賞の観点：
				学：	話し合いながら、墨や筆の技をたのしむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点： 気づいたことや感じたことを話し合うことから、自他の感じ方の違いを味わい、鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
金属と木でチャレンジ	工	6	金属と木の特徴を生かして、それらを組み合わせて、飾るものを作る。	☆ 知：	材料の特徴を生かして、つくり方を工夫する。	知識の観点： 異なる材料の組み合わせて表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。	技術の観点： 材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。
						発想・構想の観点： 異なる材料の組み合わせから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。	
				甲：	金属と木を組み合わせて飾るもの		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
				心・ 学：	を考える。 自分や友達の作品のよさを味わう。	鑑賞の観点： 主体的に学習に取り組む態度の観点：	自分や友達の作品のよさや面白さ、材料の使い方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。 自他の作品のよさを味わい、異なる材料の組み合わせによって表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
ためして刷って広がる思い	絵・版	4	これまでに経験した版画やスチレンボードの特徴を生かして、版に表す。	知：	スチレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫する。	知識の観点：	版による表現を通して、形や色の組み合わせと、そこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。
						技術の観点：	版による表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫して表している。
				☆ 思：	版をつくったり刷ったりしながら表したいことを考える。	発想・構想の観点：	さまざまな方法を試しながら自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
						鑑賞の観点：	自分や友達の作品から表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
白くなったら見える世界	立	6	身辺材料を液体粘土などで白く固めた形の組み合わせから、表したい白い世界を立体に表す。	知：	材料の固め方や置き方を工夫する。	知識の観点：	液体粘土で固めてできた形の組み合わせをいろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。
						技術の観点：	液体粘土で固めた材料の特徴を生かして、置き方や表し方を工夫して表している。
				☆ 思：	液体粘土で白くした形から表したいことを考える。	発想・構想の観点：	液体粘土で白くした形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
						鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
わたしはデザイナー 12さいの力で	工	8	生活がたのしく便利になるものをつくる。	☆ 知：	これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫する。	知識の観点：	生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解している。
						技術の観点：	これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				甲・	使う場面を思い浮かべて、板材で生蚝がたのしく便利にならす。	発想・構想の観点：	使う場面を思い浮かべながら、板材で生活がたのしく便利になるものを思いつき、どのように表すか考えている。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
				心：	考 る。	鑑賞の観点：	表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。
				学：	生活がたのしく便利になるものを作ることを楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	生活がたのしく便利になるものを作ることをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
ドリーム カンパニー	工	8	「夢の新製品」を友達と協力して考え、これまで学んだ既習事項を生かして工作に表す。	知：	身近な材料の使い方や、製品の広告のしかたを工夫する。	知識の観点：	夢の新製品をつくることを通して、形や色など造形的な特徴を理解している。
						技術の観点：	表現方法に応じて身近な材料を活用し、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。
				思：	あつたらいいなと思う新製品を考える。	発想・構想の観点：	夢の新製品として表したいものを見つけ、どのように主題を表すか考えている。
						鑑賞の観点：	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				☆ 学：	協力してアイデアを考えたり表したりすることを楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度の観点：	つくりだす喜びを味わい、あつたらいいなと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。